

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		保健センター施設維持管理事業		担当課	保健センター
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間	平成 4年度～
	施策	健康づくりの推進		種別	任意の事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働	
予算科目コード		01-040106-01 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
保健センター施設維持に要する経費	（概要） 保健センターが保健及び予防活動の拠点として、また、市民の健康づくりの場として、安全かつ快適に利用できる環境を確保するために必要な物品管理及び施設の維持管理を行い、本施設の利用目的に合った管理を行う。運営についての各部屋の貸出しを実施する。 （委託業務及び修繕工事） 建物清掃，エアコン分解清掃，警備保障，自家用電気設備，空調設備，電話設備，ボイラー，自動ドア，昇降機，非常通報装置，消防設備，植栽，運転・管理。 （施設利用） 健康増進室他 2 室
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
物品及び施設が適切に機能し，市民が安全・快適に利用できる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
現状では概ね，物品及び施設が適切に機能し，市民が安全・快適に利用できている。	平成27年度に建物調査診断業務を実施した。 建築年数が25年を経過し，改修を必要としている年数になっているため，改修事業の新規事業化を要望し，平成29年8月に全庁政策会議にて検討した結果，庁舎敷地内（隣接地含む）への保健センター移設を検討し，その結果を受けて事業の実施を判断することとなった。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
保健センター移設の検討結果がでた後に改修事業の実施を判断する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
平成27年度に建物調査診断業務を実施した、 が平成29年度に今後の改修実施計画をたてる。	各種委託業務を活用し施設を適切に維持管理できた。 平成29年度は今後の建物改修に向けて平成30年度建物改修実施設計費を予算計上した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
物品・施設の故障・トラブルの件数	6.00	5.00	3.00	5.00	5.00
延べ利用者数	12,131.00	11,242.00	11,000.00	12,100.00	12,100.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	平成 3 0 年度建物改修実施設計費を予算計上したことにより、平成 3 1 年度以降建物改修工事の体制を整えた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	建物改修実施設計，建物改修工事を行うことにより事業は拡大する。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	23,651	17,171	16,160	16,781	16,781
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	382	354	371	352	352
	一般財源	23,269	16,817	15,789	16,429	16,429
正職員人工数（時間数）		0.00	442.00	299.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,812	1,226	0	0
トータルコスト		23,651	18,983	17,386	16,781	16,781